



3月号 令和2年3月2日発行

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [TEL911-0149]



『グローバル化時代』で大切にしたいこと

校長 伊藤 智樹

新型コロナウイルスの報道が連日なされており保護者の皆様もご心配されることが多いかと思ます。お知らせしましたように全横浜市立学校は明日3月3日(火)～13日(金)が休業となります。本来なら、学習面や生活面でも1年間の締めくくりと卒業・進級・進学に向けた大切な時期ですが、子どもの健康面を考慮しての対応であるにご理解をいただければと思います。



2月14日には、荏田小恒例の持久走大会が行われました。自分のペースを意識しながら走る子、苦しいながらも最後まで走り抜こうとする子など、頑張っている子どもたち。「〇〇さん、がんばれ!」「残りあと1周だよ。」という子どもたちやスタンドの保護者の方からの声援。私はこの会場でとても温かいものを感じました。『「挑戦する」「賞賛する」「認める」「励まし合う!」』といった私が会場で見えて感じたこの光景が教育活動の原点であり、教育活動の意義であると実感しました。

『自分は今、心躍らせることのできる仕事や活動をしているのか』と自分に問うこと

この言葉は、平成30年度東京大学卒業式において総長である五神真氏が式辞の中で述べた一節です。以下その中からの引用です。

まもなく「ポスト平成」の時代が幕を開けます。そこでは、誰もが同じ未来を見据え、同じ目的に向かって邁進することに迷いのなかった高度成長期とは違う生き方が求められるでしょう。一人ひとりが本当に心を躍らせることのできる理想を探し、その経験や感覚を大切にしながら、同時に他の人の楽しさをも尊重して生きていくべき時代です。みなさんには、たとえこの先、忙しさに追われがちな日々を送ろうとも、「自分は今、心躍らせることのできる仕事や活動をしているのか」と自分に問うことを、是非忘れずにいてほしいと思います。



持久走大会の会場で私が感じたことや上記の卒業式式辞の一節などは、グローバル化時代だからこそ大切にしたい内容です。AIにはできない人間本来の営みであると思ます。上記の言葉を「教師の職務」の観点から考えたらどうでしょうか。

子どもたち一人ひとりが本当に心を躍らせることのできる授業や教育活動ができたか、と自分に問うこと。

今学校は、今年度の教育活動を振り返り、次年度に向けた計画を立てています。この問いは校長である私をはじめ教職員全体で常に問い続けていきたいと思ます。

休業期間中も状況によって今後様々な対応が生じるかと思ます。メール等を活用してお知らせしたいと思ます。

今年度も、保護者や地域の皆様にはたいへんお世話になりありがとうございました。来年度も地域と共に歩み、保護者・地域の皆様から信頼される学校を目指し、教職員一丸となって努力を積み重ねて参ります。引き続き温かいご支援ご協力をよろしくお願い致します。